

社長のひとりごと

建築家の吉田桂二先生が著書で書かれていることに共感しましたので、以下、抜粋します。

「住まいの空間というのは、抽象劇の舞台のバックのようなものです。なにもないから、演技者である住む人が映え、これが空間の豊かさを引き出します。幅一間の壁があれば、額など掛けずに、まっさらにしておいた方が装飾的です。

日本人が昔から、部屋の中に、何らかの季節感のあるものを、季節に応じて飾ってきたことを、なにもないバックとしての空間に、出ては消える演技者ととらえるとわかります。

空間の広さは豊かさということもできます。空間を物理的に増やせないなら、壁を見せることで、常にフレッシュアップして暮らしを楽しむ舞台を造りましょう。これが豊かさを導き出す鍵になります。

心豊かに暮らすには、暮らしを楽しむという、心構えがなければできません。出した物は片づける、季節の花をすかさず生ける、というような、行きとどいた空間管理が、広さを豊かさに変えてくれます。・・・」

ほんとうにそうだと思います。ふと身のまわりを見ると、ぜんぜん空間管理ができてないと思い知らされます。目の前の仕事に追われ、余裕がないというか、遊び心がないというか・・・。こういう時こそフレッシュアップして、気分転換しなければと思います。

代表取締役 田中 昭弘

OMソーラー住まい手の声
浪江町 T さん

8月にOMの家へ引越しました。

夏の暑さはいか程かと少々心配で、エアコンを設置できるように準備しておきましたが、この夏は見送りました。本当に暑い夜は2～3日あったかなあという位で、扇風機も日中は使わずじまい。お湯採りは、連日47度前後になっていました。

快適な秋が過ぎ、世間では寒波・大雪と、この冬は例年にない寒さとなっておりますが、我が家は朝は15度以下にはならないし、太陽が照った日は夕方でも20度位あります。さすがに曇りの日は灯油の減り方が早いです。

決して暖かくはないのです。ただ寒くなく、湯上りは裸足でいれるし、台所もスリッパなし、電気毛布を使わない、しもやけにならない等、以前と違って活動しやすいのは確かです。

住んでみて、新しい発見に一喜一憂していますが、工夫しながら自分の家を創っていくこと、「チームマイナス6%」に貢献していることに自己満足しています。

スタッフ紹介

今年1月から営業担当常務取締役として就任しました不動産のプロです。私共の弱い部分を補ってくれる力強い戦力です。どんなことでもご相談下さい。



【自己紹介】

はじめまして、1月16日付で入社しました折原正継と申します。ちょっと古風な名前ですが、皆様のお役に立てるよう誠心誠意をモットーとして、質の高い「家づくり」・「サービス」に努めて参ります。何でも気軽にご相談下さい。よろしくお願ひします。

プロフィール

- ・昭和33年7月19日生(47才)
- ・双葉郡双葉町在住
- ・海釣り(黒鯛ウキ釣り)を愛し、20年ぶりでゴルフクラブを新調したため、ゴルフ熱が再来中

2月イベントのご案内(只今、申込み受付中!!)

家具&キッチン講座 参加無料!

暮らしを彩るテーブルコーディネート

オリジナルキッチンのアイデア

木の家に似合う家具選び

手を動かしながら、雑談をしながら、お茶を飲みながら家づくりを楽しむヒントがいっぱいの講座です。

日時: 2月19日(日) 午後 1:30~4:00

会場: ギャラリーSORA(夜ノ森南三丁目17)

定員: 先着10名(申込締切 2月14日(火))

ギャラリーSORAをインテリアコーディネートした、永井美奈子さん(ロータスブルー代表)が講師を務めます。セミナー概要は別紙案内または、ホームページ(<http://www.ta-na-ka.co.jp>)・ブログ(<http://gsora.exblog.jp>)などでご確認ください。

上記予定は変更になることがあります。詳細が決まり次第、DMなどでお知らせします。申込先: 田中建設工業株式会社 住宅工房SORA 営業部 担当 田中

TEL 0240-34-6125 FAX 0240-34-6126

ギャラリー展示品紹介



「森のことば」コンセプト

樹木はまるで小さな宇宙です。幹ひとつにも柾目・節・赤太・白太とあり、驚くほど表情豊かです。けれど無節の柾目と画一化にこだわるあまり、せっかくの個性を色で塗り込め、自然の造形美を無視してきた点は否めません。

一本の丸太から家具として使用されるのは10%から25%、見誤った美意識と合理主義のため森の恵みを活かし切れずにきてしまったのです。すばらしい樹木の個性を楽しみつつ、資源の活用を図れるなら、こんなよいことはありません。

2001年。「森のことば」は高度な匠の技を基に「節」を主役とした家具づくりから生まれました。予想を超す魅力的なフォルムになりました。ぜひとも樹木の妙を傍らに、潤いのある暮らしをお楽しみください。

正直なはなし、気紛れな木の節を製品化するのは並大抵ではありません。他の木質に比べて節は硬くて狂いやすく、加工が難しいためです。けれど私共は森の歳月を刻む自然の妙=節に、ヒトを寛がせる不思議な味わいを直感してきました。

触れても眺めてみてもホッとする、気もちのいい家具 『森のことば』。働き者も素顔に戻る週末を『森のことば』が醸し出す山国の潤いに包まれて、ぜひとも心豊かにお過ごし下さい。(飛騨産業)